



下北沢小学校の10周年を控えて

同窓会会長 白井 良雄

昭和29年卒 東大原

8年前、東大原小学校同窓会と山小学校同窓会、そして北沢小学校同窓会が統合され下北沢小学校同窓会ができました。同窓生のそれぞれの母校に対する思いは深く、同窓会統合には反対もありましたが、今では旧3校の同窓生仲良く運営しております。

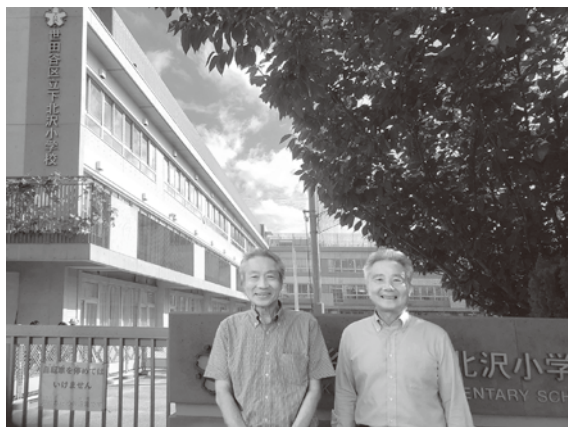
下北小には会議室兼メモリアルスペースがあります。同窓会も利用し、その活動を支えてくれ、有難く

思っています。3校の歴史や歴代校長の写真が飾られ、各同窓会が保存してきた卒業アルバム、文集、学童疎開の記録など貴重な資料が保管され、同窓生には公開しております。

新校の名前を決める時もめめましたね。結局その頃から下北沢が若者の町として全国区になってきたこともあり、下北沢小学校になりました。下北沢小は統合以来どんどん良い学校になってきていると思っています。下北沢小のホームページをご覧ください。区の教育委員会主催で行っている毎年の「学校評価アンケート結果」が載っています。児童全員と保護者と地域の方々へのアンケートです。新校が大きな目標を持ち、その具体化について、関係者に意義を納得させた上で運営され、子供たちが楽しい、自由な、チャレンジしたい方向に進んでいることが感じられます。

統合後の各校長先生は皆素晴らしい方でした。特に現在の大字校長は全国連合小学校長会の会長もなさっていたほどの大物校長ですが、子供達が楽しく、得意でやりたいことをどんどん伸ばすという方針です。昭和の規則ずくめの学校時代、先生の指導の下に脅かされていた時代とこの学校は全然違うのです。下北沢小には、三つの宝そして三つの重要目標があります。たった十年ですがそれらについてのアンケートの評価結果は年々上昇しており、私にとって驚きの十年でありました。このまま行ったらどんな学校になるだろうかと楽しみでなりません。

10周年を盛大にお祝いしようではありませんか。



正門前で白井会長(左)と大字校長

下北沢小学校長 大字 弘一郎

就任 令和元年～

「子どもたちが、毎日『今日も学校楽しかった!』『早く明日にならないかな!』と思えるような、すべての子どもの瞳が輝く『子どもが主役、そして、先生も主役』の楽しい下北沢小学校を創りたい」との想いで本校に着任し、6年目を迎えました。

私が考える楽しい学校とは、「子ども自身が、自分が伸び続けていることを実感できる」学校です。そのためには、「自分の個性や能力が十分に発揮できること」、「困難に挑戦し、克服できること」、「友達や仲間と協力できること」が不可欠です。

楽しい学校の具現化に向けて、大きく2つのキャッチフレーズを掲げています。一つは、「教師は、授業で勝負する」。学校の教育活動の中心は授業ですので、本校の教師は教育のプロとして「授業で勝負」し、授業を通して子どもたちの良さや可能性を伸ばしています。ICTの積極的な活用をはじめ、下北沢小学校の先生たちは、新たな時代の教育の実現に全力で挑戦しています。

もう一つは、「子どもは、行事で飛躍する」。全力で何かにぶつかっていく経験は、子どもを大きく飛躍させます。日常生活では味わえない緊張感や達成感は、将来、必ず貴重な経験として生きてきます。

同窓会の皆さまも、ぜひ、本校の学校公開や運動会・文化祭をはじめとする学校行事に足をお運びください。「下北沢小学校に通うと、こんなことにも挑戦できるのか!」と実感いただけたと思います。これからの時代を担う、新しい教育が下北沢小学校にはあると自負しています。

来年度(令和7年度)は、いよいよ下北沢小学校創立10周年を迎えます。秋には、記念式典や祝賀会、記念集会なども予定しています。また、1年を通して、10年という節目の年を様々な形で祝いしたいと計画しています。

同窓会の皆さまには、本校の創立以来、言葉では表せないほどのご支援をいただいております。下北沢小学校の10周年を控えて、あらためて心からの感謝をお伝えいたします。そして、20周年、50周年、100周年に向けて、末永くよろしくお願いたします。

第9回 同窓会総会のお知らせ

日時:2025年4月20日(日)午後3時から(予定) 場所:下北沢小学校 体育館

記念講演:俳句結社 今日の花 主宰 小川 晴子氏 昭和33年 東大原卒業

当日はメモリアルルームにて各小学校の卒業アルバムや学童疎開の資料などを公開します。

令和6年度同窓会総会講演から

「夢に恋して」

藤川 靖彦 昭和49年卒 東大原

藤川靖彦：花で大地に絵を描くエフェメラルフラワーアーティスト、花絵師として広く国内外で活躍。

今日の演題「夢に恋して」は、強いパワーで実現を望むことによってこそ「夢」はかなうという私の信念です。



藤川さん講演写真



藤川さん花絵作品

父も娘も息子も東大原小学校の卒業生ですが、私の小学校での一番の思い出は、運動会の徒競走で、前を走っていた走者全員が次々と皆転び、最後尾から一位になったということです。中学では卓球、高校時代はバンド活動に明け暮れ、大学は日大芸術学部に進学、卒業後はミュージシャンを経てイベントプロ

デューサーとなりました。

1999年のことです。携帯が鳴り、老朽化が進んでいた晴海団地やその周辺が大規模な再開発により新しい街が誕生するため、この街のブランドプロデュースをお願いしたいという話が舞い込みました。そこで新旧住民参加による新しい街のブランドとなるお祭りを作りたいと考えました。この仕事が、イタリ

アのインフィオラータという「市民が作る花の絨毯のお祭り」に関わるきっかけとなりました。

早速インフィオラータで有名なイタリアのジェンツァーノ市を訪れました。目の当たりにしたのは、街の人々がチームとなりマエストロの指示のもと、教会に続く250メートルの道全面に花びらや米粉、種などを使って絵画のような繊細な花絵を描く姿。感動したのはその美しさがアーティストではなく市民によって作られたことでした。これを晴海でやりたい。その足でジェンツァーノ市長を訪ね、晴海での開催協力をお願いし快諾を得ました。2001年、花絵のマエストロ10人が、イタリアから来日、花絵イベント、インフィオラータが開かれました。10万本のばらを使い、約300人の市民がマエストロとともに運河沿いの道に16枚の花絵作品を作ったのです。

私の役割はイベントのプロデューサーでしたが、自らがマエストロ、花絵師になりたいという「夢」ができました。そのころもう一つ私に夢ができました。八丈島に住みたい。2003年夏、卓球の大会で行き「緑、花々、空、海」を見て強く思ったのです。2005年八丈島に家を購入し移住しました。そして八丈島でも、花絵の活動に尽力しました。島の人たちと島の花であるフリージアの花を摘み、花絵作品を創作したのです。2013年には花絵の国際組織、エフェメラルアート国際連盟に加盟し、翌年にはアジア圏で初の理事に就任しています。

夢を追って生きる。そのためには躊躇なく行動する。フェイスブックもSNSも利用して発信し、仲間を作り、常に夢に向かって全力で走る。そうした人生を今も続けています。

（総会の講演内容及び2023年9月26日から10月12日東京新聞掲載「私の東京物語」から 要約・構成）

今年も役立ちました。同窓会からの画像伝送機器と図書への寄贈 下北沢小学校 副校長 富安 誠哉

今年度、下北沢小学校は105名の1年生が入学し、全校児童747名でのスタートとなりました。子どもたちは、新しい学年・クラス、そして先生との出会いに初めは少し緊張していましたが、今ではすっかり慣れ、友達と元気に過ごしています。

同窓会の皆様には、日頃より本校の取組に対する温かいご支援、心から感謝申し上げます。ここ数年は毎年、同窓会の貴重な資金から画像伝送機器と図書をご寄贈頂き、教育活動が大変豊かになっております。

画像伝送システムの導入により、保護者はもちろんのこと、遠方に住んでいる祖父母、または身体的な制約がある人など参観できない方々にも運動会や展覧会での児童の頑張りが感動を届けることができました。より多くの方々と運動会と展覧会の瞬間を共有できたことで、より多くの方々に私たちの喜びや成果を共感していただけることは、私たちにとって大きな励みとなりました。また、今年度も同窓会のご寄付により62冊の図書

を購入することができました。本は子どもたちの成長のために欠かせないので、図書館の本が充実することは大変嬉しいことです。本が納入されましたら同窓会寄贈コーナーを設けて、子どもたちに紹介しています。



図書館 同窓会文庫

改めて、心より感謝申し上げます。今後ともよろしく願っています。

特別寄稿 私と川場とりんご園



目指すはカッコいいりんご農家

太田 龍之介 平成13年卒 東大原

私は現在、世田谷区と縁組協定を結んで40年以上が経った群馬県にある川場村でりんご園を経営しております。

川場村との出会いは、小学校5年生の時に「川場移動教室」に参加した事でした。りんごのお話を聞き、りんごジュースをご馳走になりました。これを今では私が作り、世田谷区から来る5年生に出しているの、不思議な感じがします。

小学6年生の時には「世田谷川場ふるさと公社」が主催する「自然教室」に参加し、その際に村内のりんご農家さんのお話



を聞く機会があり、その話している姿が格好いいと思ったことが農家を目指すきっかけでした。

また、もう一人きっかけとなる農家さんがおり、「百姓っていうのは、百の姓(仕事)をもっているから、百姓っていうんだ。だから何でも出来るんだよ」と教えてくださいました。その方はりんごの栽培はもちろんですが、水道や電気工事も自分でやってしまう方でした。これが百姓って事か！と納得したので覚えています。

そういう方々の下で作業体験をさせて頂く中、車を運転できない私を最寄り駅まで送迎、泊まる場所、ご飯まで用意して頂きました。りんご園の作業も楽しかったですが、歓迎してくれている暖かさがとても嬉しかったです。そのような中で大学2年の時、「やる気があるならりんご農家をやってみないか」というお話を頂きました。

大学を卒業し、群馬県内のスーパーに就職して3年ほど経った頃、前園主が亡くなられてしまい、そのりんご園の一部を引き継ぐ事になり、川場村へ移住しました。2年間研修を受け、2017年に開業、今年で7年目になります。

りんご園を引き継いだ年は、カメムシの発生で収穫量が少なく、リンゴを育てる大変さも経験し強くなったと思っています。

今は3人の息子たちと川場ならではの遊びやスキーを楽しんでいます。子供たちが「うちの父ちゃん、カッコいいでしょ」と言えるような仕事をしたいと思っています。

同窓生の声 同窓生の皆さまのご投稿をお待ちしています。

小学校時代の思い出、同期会の様子、近況報告などお寄せください。本文200～400字程度でタイトル、氏名、卒業校、卒業年を入れてください。また採否のお知らせや問い合わせ用に、住所、連絡先電話番号、メールアドレスも明記の上、下記同窓会住所へ郵送、またはメールにてお送りください。皆様のご投稿をお待ちしております。 同窓会住所：156-0041世田谷区大原1-4-6 下北沢小学校内 メールアドレス：dosokai@shimokitazawa.school

今は皆 下北沢小同窓生

～北沢中学同期の喜寿の会～

岩本 照雄 昭和33年卒 東大原

令和6年4月14日(日)、下北沢小学校のメモリアルルームをお借りして、「懐かしき同期の集い」を開催致しました。

8年前に古希の会を開催し、「喜寿で再び集おう」という約束でしたが、1年遅れての「喜寿の会」開催となった次第です。

当日、予定参加員数よりかなり出席者は減りましたが、16名の北沢小学校、守山小学校、東大原小学校卒の、今は下北沢小学校の同窓生になった78歳の後期高齢者達がそれぞれの学校の懐かしさ溢れる往時を振り返り、語り、そして思い出話等が走馬灯の如く流れ去る、時を忘れた3時間でした。「…初恋の人は来なかったけれど…」最後に遠き日に歌った北沢中学校校歌「北斗の校歌」を筆者のピアノ伴奏で合唱し、健康と次回の「米寿の集まり」を誓い、併せて下北沢小学校同窓生としての誇りを胸に閉会となりました。同期の友は年齢は相応に重ねましたが、変わ

らぬものは若葉の芽吹く校庭に響きわたる60年前と同じ、あの明るい笑い声でした。

尚、開会に先立ち、臼井同窓会会長よりお言葉を賜り、又、準備等にお力添えを頂きました事に紙面をお借りし御礼申し上げます。



喜寿の会（昭和33年東大原小、北沢小、守山小卒）

6年4組は永遠です

益井 純子 昭和35年卒 東大原

2024年5月23日、芝浦の海見える素敵なレストランで、「天空の喜寿記念クラス会」を開きました。かつてどこかで



永遠の6年4組

「同窓会（クラス会）に出席しようと思う人は幸せな、自分らしい人生を生きてきた人ばかりだ」という言葉を聞いたことがあります

です。同窓会の持つある要素を一言で言い当てた言葉だと思います。人生を肯定的にとらえて、未来に希望をもつことの大切さをいつも同窓会から学んできました。

今回は2023年の「下北沢小学校同窓会報」で神谷君がお約束した「出席者それぞれが小学校時代の思い出を話しながら、私たちの過ごした6年間の「昭和の下北沢」を浮かび上がらせよう」という企画を実行しました。乾杯の後に小さなアンケート用紙をみんなに配り、「楽しかったこと（うれしかったこと）、嫌だったこと（寂しかったこと）は何ですか?」という問いに答えてもらいました。以下にその結果をまとめてみました。

<楽しかったこと>

「M原君の家の豪華なおやつ（その時間を狙って遊びに行った）」「K谷君とよくキャッチボールをやったこと」「E口君とよくキャッチボールをやったこと」「当時下北沢には映画館が多く、たくさんの映画を観ることができた」「画家であるT田君の父上に絵を褒められたこと」「A井先生のご指導で鉄棒をやったこと」「すずらん堂の明るいおばさん」「のびのびと皆といわれたことが楽しかった」「チビの私はチビどうしでわちゃわちゃと遊んだこと」「6年間クラス替えがなく、同じクラスで過ごせたこと」「砂場の鉄棒で大車輪をやったり相撲をとったこと」「臨海学校・林間学校」「運動会・遠足」「校門前のパン屋さんのパン」「夏休み毎日プールに行けたこと」「やすみ時間」「作文をほめられたこと」「展覧会に入選し、校長先生から表彰されたこと」「給食の揚げパンがおいしかった」

<嫌だったこと>

「何かというと先生に姉と比較されたこと」「2部授業」「4年生の時に父が亡くなったことは辛かった」「車に弱かったのでバス旅行が嫌だった」「宿題を忘れて立たされたこと」「ひいきされていると誤解されたこと」「プールに入れずに雨の中を海パンで帰ったこと」「嫌なあだ名をつけられたこと」「掃除道具部屋に閉じ込められたこと」「転校でクラスの人々と別れたこと」「給食の脱脂粉乳のまずさ」

昭和30年代の小学生生活がどんなものだったか、その一端がわかるような気がします、いかがでしょうか。

学校もそれを取り囲む下北沢もすっかり変わってしまいましたが、目をつづれば私たちの過ごした6年間の風景はいつまでも残っています。「次は80歳の傘寿の時会いましょう」とお別れしました。米寿、卒寿と皆、元気でいてね。学校の名前は下北

沢小学校と変わりましたが、孫の母校でもあります。このクラス会を準備してくれた幹事の神谷、安野、江口、垣花、土田、鈴木君たちをはじめ、今回のクラス会に参加した17名の同級生たちに感謝します。

東大原小学校の6年4組は永遠です！

小学校時代の思い出

久保 孝光 昭和44年卒 北沢

私は、第三荏原尋常小学校卒業シベリア帰りの父と農家出の母の長男として生まれました。父は油まみれで働き、共働きで貧乏でしたが、不自由なく育ちました。北沢小学校は木造校舎で、私は学校から帰ると三角ベース、ザリガニ取りをしたり銭湯で遊んでいました。北沢五丁目は職人の町で刺青をした大人だらけで、背中をながすと牛乳をご馳走してくれました。

夏の楽しみは、学校のプール、ラジオ体操、盆踊り、お祭りでした。オリンピックがあり、甲州街道でマラソンを応援しました。6年生の時には、防犯野球大会でユニフォームのバラバラな我が北小チームが優勝しました。又、そのメンバーで守山小学校とソフトボールの試合をして接戦しました。1番の思い出は運動会のリレーでアンカーの私に弟がバトンをつなぎ、第1位になり陸上選手だった父が喜んでくれたことです。

北沢小学校は沢山の思い出をくれました。これからは同窓会等を通じて少しでも故郷に恩返ししていきたいと思います。

北沢小を卒業して

豊田 慈子 昭和47年卒 北沢

私が小学校に入学した時、北沢小は木造の2階建校舎でした。暖房は石炭ストーブ、日直になると裏置き場にあるコークスを取りに行くのが、仕事の1つでした。そして、4年生の時に新校舎建て替え工事が始まりました。グラウンドには何棟かのプレハブ校舎が建ちました。体育の授業は、大山公園で行うこともありました。楽しい思い出です。

6年生の時に新しい鉄筋の校舎ができあがり、私達は最初に新校舎で勉強することができた学年となりました。

それから40数年後、我が北沢小は廃校となり、東大原小、守山小、北沢小、3校統合ということで、現在の下北沢小学校となりました。

今は民生委員として、地域のお年寄りや子どもたちの見守りをしています。

また、下北沢小学校の学童保育や児童館のお手伝いもしながら充実した日々を送っております。

下北沢小学校開校10周年に向けて

杉本 真 昭和49年卒 守山

東大原と守山が合併して下北沢小同窓会が発足する準備段階から同窓会活動に関わるようになり、早10年経ってしまいました。

その中で感じた課題は、毎年会員が増加しているにもかかわらず会費を納入して下さる方が殆ど増えない、ということです。特に若い会員の方に関心を持ってもらえていません。

来年は下北沢小学校が10周年を迎えます。

今後益々同窓会が発展し、一人でも多くの会員の方に同窓会を理解してご参加いただけるよう、来年は何かしら会員相互交流ができるイベントを企画したいと考えています。多くの方にご参加いただけると嬉しいです。また、10周年記念行事も催されと思いますので、奮ってご参加下さい。

「私の母なる大自然、代田-大原-羽根木」

小堺 健司 昭和62年卒 守山

現在、生まれ育った羽根木を拠点に「盆栽業」を営んでいます。2007年より埼玉県川口市安行の盆栽園で修業をはじめ、現在も同園で技術を磨きながら、盆栽の里直送の技術とその楽しさをお伝えする橋渡しとして、ワークショップなどをしながら各所を歩き回っています。

私は羽根木商店街の一角にあった佃煮屋に生まれ、守山小学校に通っていました。小学校時代の思い出としては下校後に遊びまわっていた記憶がほとんどで、代田・大原・羽根木の仲間たちと塀を乗り越え、柵をまたいで町内に広がる未知の領域を探して走り回っていました。

学生になっても形を変えてその癖は続き、登山を経験する中で人の手が加わっていない植生がほぼ高山にしかないことを知り、人知の及ばない自然の造形「原生林」に惹かれるようになりました。これが原点となって、鉢の中で自然・生命力を表現する技巧「盆栽」という職業に出会いました。



ミニ盆栽 ひのき

現在「まもりやまテラス」という地域複合施設に姿を変えた旧守山小学校で、盆栽の「部活動」を行っています。学び舎に戻った気分



まもりやまテラスでの盆栽教室

で地域の皆様と盆栽づくりを楽しんでいるところです。

下北沢小学校の思い出

— 世界一の柔道家めざして —

佐藤 星衣 平成30年卒 下北沢

私が小学校に入学した時は東大原小学校という学校名で、小学5年生の時に3校が合併し下北沢小学校になりました。

とにかく毎日学校に行くのが楽しみで今でも小学校での学校生活を鮮明に覚えています。

今19歳になって私が思うことは、小学校6年間に過ごした仲間は一生物だということです。

今でも小学校の仲間と会う機会が多く、高校や大学が違っても食事をしたり道に迷った時は相談をしたりと、常に下北沢小の仲間に支えられています。昔は喧嘩をしたり、一緒に先生に叱られた仲ですが、そんな友達関係が今でも続いていることを私は誇りに思っています。

私は現在明治大学体育会柔道部に所属しており、オリンピックという目標に向けて日々挑戦し続けています。

また柔道を通して自分が好きなことを続けられていること、またそれを応援してくれる人がいることが、当たり前ではないことを深く実感しています。そういった方々に恩返しをする意味でも、世界一になり地元下北沢を世界に挙げられるようにこれからも精一杯頑張っていきたいと思います。



オリンピックで金メダル目指してます!

懐かしい気持ちで見守ってます!

瀧井 柚希 平成30年卒 下北沢

下北沢小学校を卒業して6年が経ちました。まだまだ気持ちは小学生ですが、現在は明治大学の農学部で主に化学の勉強をしています。やっと辛い受験を乗り越え夢のキャンパスライフが始まると思っていましたが、実験やバイトで忙しい日々を送っています。忙しいと文句を言いつつも充実した日々がとっても楽しいです。

大学に行くのに下北沢駅を利用しているため毎朝、下北沢小学校の前を通ります。昔お世話になっていた主事さんや校長先生が挨拶をしてくれるのがすごく嬉しいです。

同窓会会費納入のお願い

同窓会は総会開催や会報発行の他に、下北沢小学校の活動の支援も行っております。これらの活動に資するために20歳以上の卒業生から年間1,000円の会費を及び寄付を任意で納入して頂いております。

来年は下北沢小学校も10周年を迎えます。同窓会の更なる発展のために、同封の払込取扱票にてお支払い頂けますよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

同窓会住所：156-0041 世田谷区大原1-4-6 下北沢小学校内

同窓会への連絡はメールアドレス
dosokai@shimokitazawa.school
までお寄せください。



同窓会ホームページ
<http://www.shimokitazawa.school>
下北沢小学校のHPにもリンクしています。



令和6年度同窓会総会議事について

令和6年同窓会総会は通年通り令和6年4月21日に対面開催され、各議案の説明及び質疑応答が行われた結果すべての議案が原案通り承認可決されました。各議案の内容は下記の通りです。

第一号議案「令和5年度事業報告」

1. 総会開催

令和5年4月16日（日）4年ぶりに同窓会総会を開催した。
参加者 61名（来賓3名、東大原卒25名、守山卒8名、北沢卒10名、下北沢卒15名）
第一部：総会議事
第二部：臼井会長による学童疎開についての講演

2. 会員名簿の管理及び会報の発行

下北沢小学校同窓会として「しもきたざわ第7号」の会報6,500部を作成し、令和5年11月に発送した。現時点での卒業生総数は約30,000名。うち同窓会員住所判明者約6,200名、会費・寄付金の納入者は約530名でした。

3. 母校の教育環境の向上

令和3年度より継続している同窓会文庫を令和5年度も実施した。
令和4年度同様に、学校内の運動会や学芸会などのイベントを同時中継して児童の家庭に届ける映像撮影編集伝送システム機器145,195円を購入し寄贈した。

4. 同窓生や地域の親睦を図るための事業

ホームカミングデー等の企画を検討。

5. 地域との連携

下記の地域催事に協賛した。
下北沢阿波おどり、おやじの会主催校庭キャンプ、せたがや梅まつり(羽根木公園)

6. 理事会、評議員会の開催

理事会：5月、9月、1月に開催（計3回）
評議員会：7月、12月、3月、4月に開催（計4回）

7. ホームページの管理・運営

下北沢小学校同窓会のホームページを随時更新している。

第二号議案「令和5年度決算報告および会計監査報告」

令和5年度決算報告
(自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日)
(単位：円)

収入の部	予算額	決算額	支出の部	予算額	決算額
会費収入	550,000	526,000	活動費（※1）	250,000	339,124
寄付金	500,000	475,000	会報費（※2）	710,000	656,442
雑収入	-	98	通信費	5,000	0
			文具等消耗品費	25,000	16,645
			振替払込手数料負担	50,000	60,457
			メモリアルスペース費用	10,000	4,048
当年度計	1,050,000	1,001,098	当年度計	1,050,000	1,076,716
前年度繰越金	2,774,043	2,774,043	次年度繰越金（※3）	2,833,652	2,698,425
合計	3,824,043	3,775,141	合計	3,833,652	3,775,141

活動費（※1） 明細		会報費（※2） 明細	
支出内容	金額(円)	支出内容	金額(円)
ホームページ管理費	60,060	編集・印刷代(6ページ建、6,500部)	219,010
寄付・協賛金(3件)	30,000	怒付き封筒作成代(7,000部)	109,340
下北小へ無線映像伝送システム機器寄贈	145,195	私製払込取扱票作成	32,890
下北小へ図書寄贈(同窓会文庫63冊)	99,869	宛名印字(バーコード付き)	82,577
総会費用	4,000	郵送料(区内特別割引郵便含む2,699通)	212,625
合計	339,124	合計	656,442

次年度繰越金(※3)の内訳
振替口座 191,122円、 普通預金 1,507,303円、 定期預金 1,000,000円 計2,698,425円

会員の皆様からの会費・寄付金の支出にあたっては、同窓会活動に必要な経費の支出に限定しております。
また、下記のガイドラインを設け、注意を払い、健全な会計を目指して活動しております。
・同窓会役員は、全員ボランティアとして活動に伴う飲食費、交通費等は自己負担とし、同窓会から支出しない。
・懇親会や親睦旅行などは、会員の一部の人間が参加するものであるため、金銭的援助は行わない。
・コピー代、通信費、文具費など活動のための実費は、領収書を提出し会計の承認を得て支払う。

令和5年度監査報告

我々監事3名は、令和5年度決算書類を慎重に監査した結果、いずれも適正かつ妥当なものと認めます。

令和6年4月7日
監事 齋藤 耕一 印
監事 久保 孝光 印
監事 元田 雅子 印

第三号議案「令和6年度事業計画」

1. 総会の開催

令和6年4月21日開催

2. 会員名簿の管理及び会報の発行

年1回の会報作成とより多くの会員への送付を実施し、会費納入会員の更なる増加を図る。
会員名簿の管理は個人情報漏えいを防ぐため、「個人情報保護方針」に従い、責任者を決め、厳重にこれを管理することを継続する。

3. 母校の教育環境の向上

母校や学校関係諸団体とのコミュニケーションを継続して行う。
各種学校関連行事への参加、協賛、寄贈などを学校と協議し母校の発展に協力する。

4. 会員の福利厚生

引き続きホームカミングデー等を検討。
同窓生のメールや手紙による各種の要望には誠実に対応する。

5. その他

地域の行事へ積極的に参加し、地域の発展に協力する。

第四号議案「令和6年度予算案」

令和6年度予算
(自：令和6年4月1日 至：令和7年3月31日)
(単位：円)

収入の部	令和6年度 予算額	令和5年度 実績	支出の部	令和6年度 予算額	令和5年度 実績
会費収入	500,000	526,000	活動費	400,000	339,124
寄付金	500,000	475,000	会報費	750,000	656,442
雑収入	-	98	通信費	25,000	16,645
			振替払込手数料負担	65,000	60,457
			メモリアルスペース費用	10,000	4,048
当年度計	1,000,000	1,001,098	当年度計	1,250,000	1,076,716
前年度繰越金	2,698,425	2,774,043	次年度繰越金	2,448,425	2,698,425
合計	3,698,425	3,775,141	合計	3,698,425	3,775,141